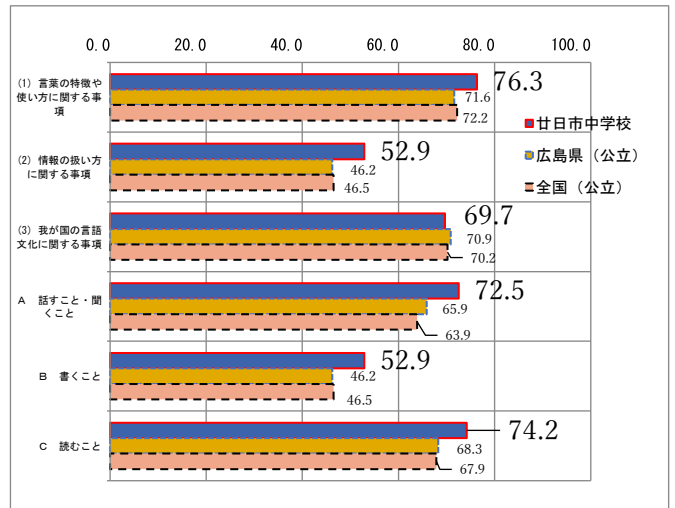
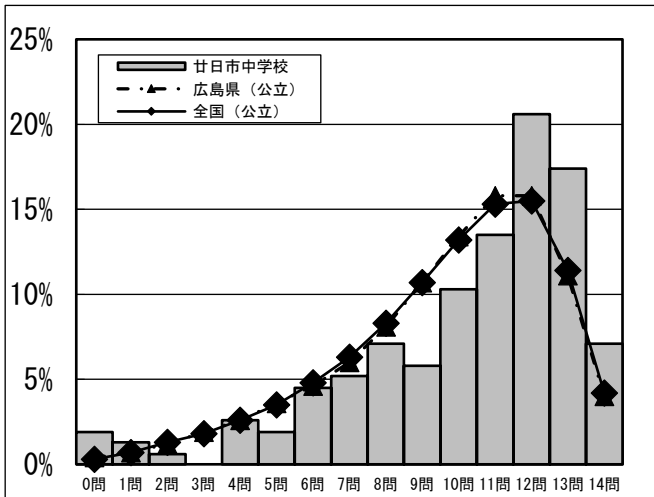


令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

平均正答率	本校	広島県平均	全国平均
	73%	69%	69%

国語

国語については、平均正答率が73%だった。領域別では、1知識及び技能(3)我が国の言語文化に関する事項が県平均、全国平均を下回っているが、それ以外の領域、2観点では県平均、全国平均よりも高い。問題形式についても、「選択式」「短答式」「記述式」すべてにおいて、同様に高い。



【正答率上位2問】

- 最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する(設問4二) 89.0% (県90.4%)…A
- 書き直した文字の「と」の書き方について説明したものを選択する(設問4三) 86.5% (県81.6%)

【正答率下位2問】

- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する(設問4一) 33.5% (県40.6%)…B
- 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える。(設問2三) 52.9% (県46.2%)

【重点課題】

- 県平均を下回っている設問が2題ある。(上記 A・B) また、全国平均を下回っているものが1題ある。(「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する(設問3四) 83.2% (全国 84.0%))…C
- A は、行書で書かれた「希」「望」について、行の中心がずれていることを捉えることに課題がある。B は行書の特徴についての理解に課題がある。C は語句の意味の理解に課題がある。

【授業改善】

- 課題として共通しているのは、知識や技能として定着すべき(意味や特徴を理解する)ことが、定着していない。意味調べや特徴の確認は行っているので、文脈の中や他の作品の中で意味を確認することや、書写の活動の中で書き終わったものを特徴と照らし合わせて比較するなどの活動を取り入れる。

(その他)

- 県平均を一番上回った設問は「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現技法が使われているものを選択する(設問3一) 56.8% (県45.5%) で、+11.3%。全国平均を一番上回った設問は、「スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く(設問1三) 65.2% (全国51.8%)) で、+13.4%ある。

正答率下位2問についての詳細

①【設問4一】 33.5% (広島県40.6%)

① ②の部分は、筆順の変化に気を付けて書くことができている。

② ④の部分は、楷書と同様に点画を直線的に書くことができている。

③ ⑤の部分は、点画を省略して書くことができている。

④ ⑥の部分は、点画を連続して書くことができている。

4

竹内さんは、行書で「夢と希望」という文字を書いています。次の「最初に書いた文字」、**「書き直した文字」**を読んで、あとの問いに答えなさい。

【最初に書いた文字】

【書き直した文字】

【友達や先生からの助言】

漢字については青山さんの言うとおりにですが、ひらがなの「と」についても課題がありそうですね。

先生

全体的に行書の特徴を踏まえて書くことができていると思います。ただ、漢字のバランスが悪いような気がします。先生、どうでしょうか。

青山さん

行書の点画の書き方に気を付けて書いてみたのですが、どうでしょうか。

竹内さん

<問題の概要>

行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。

<出題の趣旨>

行書の特徴を理解しているかどうかをみる。

<学習指導要領における内容>

[第1学年]知識及び技能

(3) 我が国の言語文化に関する事項

エ(イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。《書写》

<解答類型>

類型	正誤	解答の内容	解答率
1	◎正答	1と解答しているもの	33.5
2	誤答	2と解答しているもの	7.1
3	誤答	3と解答しているもの	51.6
4	誤答	4と解答しているもの	7.1
5	誤答	上記以外の回答	0.0
0	無回答		0.6

- ◆ 最も誤答が多かった【解答類型3】の生徒が約半数おり、行書の特徴についての理解に課題があります。【解答類型2】の生徒は、行書と楷書の違いについて理解できていないものと考えられます。【解答類型3、4】の生徒は、行書における「省略」、「連続」が理解できていないものと考えられます。また、【解答類型2~4】の生徒は、「点画」の意味が理解できていないものとも考えられます。
- ◆ 直線的な点画で構成されている漢字を行書で書く際には、点や画の形が丸みを帯びる場合があること、点や画の方向及び止め・はね・払いの形が変わる場合があること、点や画が連続したり省略されたりする場合があること、筆順が変わる場合があることなどといった行書の特徴を理解しておく必要があります。

- ◆ 同じ文字を楷書で書いたものと行書で書いたものとを比較したり、点画の連続や点画の省略、筆順の変化などの行書の特徴が、実際に行書で書いた文字のどの部分に表れているのかを確かめたりする学習活動を工夫します。
- ◆ 生徒自らが行書の特徴に気づき、どのようにすればこれらの特徴を生かした書き方ができるのかを考え、身近な文字を書く活動に積極的に役立てるような、主体的な学びを促すよう授業を工夫します。

<内容の系統性>

○書写（エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。）

小学校 第3・4学年	小学校 第5・6学年	第1学年	第2学年	第3学年
(ウ) 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。	(イ) 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。	(イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。	(ア) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。	(ア) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。

<教科書との関連>※光村図書出版

学年	単元	時数	知識及び技能	他教科との関連	
第1学年	3 行書の書き方を学ぼう	行書を書くときの動き	2	(3) エ(イ)	
第2学年	1 行書の書き方を学ぼう	点画の省略〈桜色〉	3	(3) ウ(ア)	
		筆順の変化〈若緑〉	3		
		行書のまとめ②	適宜		
第3学年	文字のいずみ	書き初めをしよう 〈希望に輝く春〉〈生命を尊ぶ〉〈不屈の精神〉〈梅の花咲く里〉	1	(3) エ(ア)	道徳 A(1) 自主、自律、自由と責任 D(22) よりよく生きる喜び

② 【設問2三】 52.9%（広島県 46.2%）

条件1 「農林水産省のウェブページにある資料の一部」から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かきかっ()、()、< >、< >で囲まれる。

条件2 「例えば」に続けて書くこと。

② 小林さんは、国語の時間に、「先端技術との関わり方」というテーマで意見文を書いています。次は、文書作成ソフトを使って小林さんが書いた【意見文の下書き】と友達が書いた【コメントの一部】、小林さんがコメントを受けて集めた【農林水産省のウェブページにある資料の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利が増えてよいと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父母に、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取りのぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよろこんでいる祖父母に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入っていない」とのことだった。[スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ]。しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私たちが意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していくだろう。私も祖父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

【コメントの一部】

上野
他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないだろうか。

中村
私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】

スマート農業について

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。
 →「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0[®]の実現」
※Society5.0：政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿

スマート農業の効果

- ① 作業の自動化
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② 情報共有の簡易化
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ データの活用
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

（農林水産省ウェブページによる。）

(注1) AI＝人工知能。
 (注2) IoT（アイオーティー）＝自動車や電化製品などの様々なものがインターネットに接続されているシステム。
 (注3) センシングデータ＝センサーを利用して計測・判別し、収集した情報。

<問題の概要>

農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える。

<出題の趣旨>

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。

<学習指導要領における内容>

〔第1学年〕 知識及び技能

(2) 情報の扱い方に関する事項

イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。《情報の整理》

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

(1) 指導事項

ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。《考えの形成、記述》

<解答類型>

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① 【農林水産省のウェブページにある資料の一部】から適切な情報を抜き出して書いている。
- ② 引用する部分をかぎかっこ(「」)でくくって書いている。
- ③ 「例えば、」に適切に続くように書いている。

(正答例)

- ・ (例えば、)農林水産省のウェブページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。
- ・ (例えば、)農林水産省の資料によると、「作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に」なったり、「農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に」なったりすることが示されている。
- ・ (例えば、)資料には、「熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能」な「情報共有の簡易化」なども効果として挙げられている。

類型	正誤	解答の内容	解答率
1	◎正答	条件①、②、③を満たして解答しているもの	52.9
2	誤答	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	0.0
3	誤答	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	34.2
4	誤答	条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	0.6
5	誤答	上記以外の解答	5.8
0	無回答		6.5

- ◆ 正答した生徒は、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができます。【農林水産省のウェブページにある資料の一部】から、スマート農業の効果として適切な情報を抜き出し、引用する部分をかぎかっこ(「」)でくくるとともに、「例えば、」に適切に続くように書くことができます。
- ◆ 最も誤答が多かった【解答類型3】は、考えを支える適切な情報を取り出して書くことは身に付いていますが、根拠を明確にするための適切な引用の仕方の理解について課題があると考えられます。具体的な例としては、「(例えば、)情報共有が簡易化されたり、様々なデータを活用することができたりする。」といった解答のように、引用部分がはっきりしていません。
- ◆ 引用して書くとは、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書くことで、引用する場合は、原文に正確に引用することや、引用した部分と自分の考えとの関係などを明確にすることなどに注意し、引用部分には「」をすることや出典を示すことが必要です。第1学年の該当の単元で、引用の仕方について理解を深めるように学習指導を工夫します。
- ◆ また、引用については、小学校第5・6学年で学習することから、小学校とも連携していきます。

<内容の系統性>

○情報の整理

小学校 第1・2学年	小学校 第3・4学年	小学校 第5・6学年	第1学年	第2学年	第3学年
	イ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。	イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。	イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。

○考えの形成、記述

小学校 第1・2学年	小学校 第3・4学年	小学校 第5・6学年	第1学年	第2学年	第3学年
ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。

<教科書との関連>※東京書籍

※「引用」に関連した単元

学年	単元		時数	知識及び技能 (2)イ	思考力、判断力、表現力等 B(1)ウ	他教科との 関連
第1学年	言葉に出会うために	声を届ける/書き留める/ 言葉を調べる/続けてみよう	4	◎		
	情報社会を生きる	情報を集めよう/情報を読み取ろう/ 情報を引用しよう	3	◎		技術・家庭 「D 情報に関する技術」
	5 筋道を立てて	根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	5	◎	◎	
	7 価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す [書く]根拠を明確にして、意見をまとめよう	4 [1]	◎	◎	
	8 自分を見つめる	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	5	◎		道徳 A(1)自主、 自律、自由 と責任
	振り返り	学習を振り返ろう	3	◎	◎	
第3学年	5 自らの考えを	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く	4		◎	
	振り返り	学習を振り返ろう	4		◎	学級活動 (2)イ 自己及び他 者の個性の 理解と尊重